

## 事業群評価調書（令和7年度実施）

基本戦略名	2-1 新しい時代に対応した力強い産業を育てる	事業群主管所属・課(室)長名	産業労働部 新産業推進課	原田 啓輔
施策名	2 スタートアップの創出	事業群関係課(室)		
事業群名	① スタートアップによる新サービスの創出		令和6年度事業費(千円) ※下記「2. 令和6年度取組実績」の事業費(R6実績)の合計額	88,424

### 1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)	(取組項目)
スタートアップの集積には、県内外の大学、金融機関、創業意欲のある学生や様々な分野の社会人などが交流することが必要です。そのため、都市部企業等との新たなビジネスモデルを生み出す取組やセミナーなどで機運を高めるほか、異業種の交流を進めることで新サービスの創出に繋げていきます。	i ) 県内におけるスタートアップ創出の支援 ii ) 県外産業交流拠点と連携した県外スタートアップの誘致
指標	(進捗状況の分析)

事業群	スタートアップの創出・誘致件数(累計)	目標値①	/	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)
		実績値②	/	5件	13件	24件	33件	/	進捗状況
		達成率②/①	/	166%	216%	114%	113%	/	順調

### 2. 令和6年度取組実績(令和7年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要			指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和6年度事業の成果等	
				R5実績	うち一般財源	人件費(参考)	令和6年度事業内容及び実施状況(令和7年度新規・補正事業は事業内容)			主な指標	R5目標	R5実績		
事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)	事業対象			R6目標	R6実績						
取組項目 i ii	○	1	創業・起業支援事業費	33,227	28,967	7,659	●事業内容 スタートアップ交流拠点CO-DEJIMAにおいて、起業相談や交流会等の実施を通じて、長崎でチャレンジしたい人が挑戦できる環境づくりを進め、スタートアップの創出を促進した。 ●実施状況 CO-DEJIMAにおいて、スタートアップ関連イベントを146回、起業相談を56回開催するなどの支援を実施した。			【活動指標】 出島スタートアップ拠点の利用者数(人)	13,000	3,766	28%	●事業の成果 ・CO-DEJIMAにおいて146回のイベント開催等を行った結果、合計9社のスタートアップの創出や誘致を行うことができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・起業に関心のある方を対象に、起業相談や交流会等の実施を通じて、スタートアップ創出の目標達成に寄与した。
				22,624	12,967	3,942					4,500	3,586	79%	
				24,863	15,206	1,575					4,500	/	/	
							【成果指標】 R5:出島交流会館に集積したスタートアップ企業(社)			3	3	100%		
				R2-			【成果指標】 R6:スタートアップの創出・誘致件数			8	9	112%		
			新産業推進課	—	—	—	新たなビジネスモデルにより成長を目指すスタートアップ企業			8	/	/		

○	2	ミライ企業Nagasaki推進事業  (R6終了)R4-6  新産業推進課	11,040	11,040	3,064	<p>●事業内容 スタートアップ等の資金調達の支援及び市町等と連携した県内における起業の機運醸成のため、「ミライ企業Nagasaki」を開催する。</p> <p>●実施状況 チャレンジ部門登壇の9者に対して事業計画のブラッシュアップを支援し、そのうち2者に対しては事業化にする費用を支援した。スタートアップ部門登壇の6社に対しては、投資家からの助言等の機会や資金調達に向けた協議の場を提供した。</p> <p>新たなビジネスモデルにより成長を目指すスタートアップ企業</p>	【活動指標】 マッチングイベントの参加者数（社・者）	10	13	130%	<p>●事業の成果 ・投資家と県内スタートアップのマッチングの機会を提供することで、計5件の資金調達につながった。</p> <p>●事業群の目標達成への寄与 ・マッチングイベント参加企業等の事業計画のブラッシュアップ等の支援により、スタートアップ9社の創出や誘致に繋がった。</p>
			11,046	7,524	3,153		10	15	150%		
			—	—	—	<p>【成果指標】 スタートアップの創出・誘致件数（件）</p>	8	11	137%		
			—	—	—		8	9	112%		
○	3	ミライ企業Nagasaki推進事業  (R7新規)R7-9  新産業推進課	17,639	10,894	8,665	<p>●事業内容 スタートアップの資金調達や起業の機運醸成を目指すイベント「ミライ企業Nagasaki」を開催するとともに、登壇者の更なるレベルアップを図るため、県内全域でスタートアップの創出を促進する。</p> <p>新たなビジネスモデルにより成長を目指すスタートアップ企業</p>	【活動指標】 県内全域でのワークショップの開催（回）	8	—	—	<p>—</p>
			—	—	—		8	—	—		
			—	—	—	【成果指標】 投資家から出資を受けた登壇企業数（件）（累計）	1	—	—		
			—	—	—		—	—	—		
取組項目 i ii	4	スタートアップ・クロステック推進事業  (R6終了)R5-6  新産業推進課	25,412	13,762	3,064	<p>●事業内容 都市部での交流イベント等を通して、本県にゆかりのある起業家や都市部スタートアップ等を県内に呼び込むとともに、交流拠点「CO-DEJIMA」等と県外コミュニティとの連携強化に取り組むことで、新たなビジネスの創出に向けた土壤を創出する。</p> <p>●実施状況 東京にある日本最大級のスタートアップ集積拠点での交流イベントや福岡での九州最大級のスタートアップイベントにおいて、合計6社の本県スタートアップによるプレゼンを行うとともに、県内においても、スタートアップへの興味喚起イベントを開催することで、県内外に向け、本県の事業環境PRに取り組んだ。</p> <p>新たなビジネスモデルにより成長を目指すスタートアップ企業</p>	【活動指標】 県外コミュニティ等の訪問件数（件）（累計）	13	20	153%	<p>●事業の成果 ・スタートアップの呼び込みイベントを東京など県外で2回開催したことにより、県外のコミュニティとの関係構築や県内でのスタートアップへの興味喚起イベント開催により、計552名が参加し、県外スタートアップが、本県との関わりを持つ契機となった。</p> <p>●事業群の目標達成への寄与 ・CO-DEJIMAと首都圏など県外コミュニティの連携が強化されたことで、県内に新たに拠点を設けるスタートアップが出てくるなど、県内におけるスタートアップ集積の目標達成に寄与した。</p>
			25,311	13,111	3,153		26	34	130%		
			—	—	—	【活動指標】 県外スタートアップ等との交流イベントの実施件数（件）	3	3	100%		
			—	—	—		3	3	100%		
			—	—	—	【成果指標】 県内・県外コミュニティ等のマッチング件数（件）（累計）	7	21	300%		
			—	—	—		14	28	200%		
			—	—	—	【成果指標】 県外スタートアップ等の県内活動件数（件）（累計）	5	10	200%		
			—	—	—		10	15	150%		
○	5	上場チャレンジステップアッププロジェクト事業  (R6終了)R6  新産業推進課	13,096	6,605	3,112	<p>●事業内容 上場企業の早期輩出等を図り、若者の雇用の場の創出等の経済活性化につなげるため、経営管理のあり方など必要なノウハウを学びあう場の提供や専門家による集中指導等を実施する。</p> <p>●実施状況 上場に关心がある県内企業を対象とした勉強会を開催したほか、その中でも特に上場への意欲が高い企業に対しては、専門家による集中指導を実施した。</p> <p>上場に关心のある県内企業</p>	【活動指標】 専門家活用企業数（社）（延べ）	3	3	100%	<p>●事業の成果 ・経営管理のあり方などを学ぶ勉強会を6回開催したことにより、ノウハウの習得や経営基盤強化の手法を学ぶための専門家による集中指導を、3社に対して実施した。</p> <p>●事業群の目標達成への寄与 ・県内から上場企業を輩出したことで、上場等の高い成長意欲を持つスタートアップの創出等の機運醸成に繋がり、県内におけるスタートアップ集積の目標達成に寄与した。</p>
			—	—	—		—	—	—		
			—	—	—	【成果指標】 上場企業の輩出（社）	—	1	—		
			—	—	—		—	—	—		

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<p>i 県内におけるスタートアップ創出の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●実績の検証及び解決すべき課題 交流拠点CO-DE JIMAにおける起業相談や交流会等の実施に加え、首都圏等でのイベント等を通じた県外スタートアップの呼び込みにより県内でのスタートアップの集積数は総合計画を上回るペースで進んでいる。一方、県内スタートアップの拠点は、都市部へ集中しており、また、事業規模を拡大できる県内スタートアップの数も十分とは言えないため、成長支援にも取り組む必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●課題解決に向けた方向性 県内各地でのスタートアップの機運醸成を図る取組を進めるとともに、マッチング機会の提供による売上拡大支援等、事業規模の拡大に向けた支援にも取り組んでいく。</li> </ul>
<p>ii 県外産業交流拠点と連携した県外スタートアップの誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●実績の検証及び解決すべき課題 県外産業交流拠点との交流を通して県外スタートアップの誘致につながった事例や、本県出身の起業家が都市部での活動を経て本県に拠点を移した事例もあるため、本県での更なるスタートアップの集積には県外との連携を積極的に進める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●課題解決に向けた方向性 県外産業交流拠点や投資家等と連携したプッシュ型の営業活動等により、県外スタートアップを呼び込むとともに、市町の支援策の活用や投資家等とのマッチングの機会を提供する等の支援により、本県へのスタートアップの集積を促進する。</li> </ul>

#### 4. 令和7年度見直し内容及び令和8年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業番号	事業事業名 事業期間 所管課(室)名	令和7年度事業の実施にあたり見直した内容 ※令和7年度の新たな取組は「R7新規」等と、見直しがない場合は「ー」と記載	令和8年度事業の実施に向けた方向性		
				事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目 i	○ 1	創業・起業支援事業費 R2- 新産業推進課	CO-DEJIMAにおいて、創業相談や交流会等の実施に加えて、創業後間もない事業者等が事業計画の策定やプランディングなど経営者に必要となる知識やスキルを体系的に学ぶプログラムを開講し、スタートアップの創出や成長を支援するための環境づくりを進める。	⑥	今年度のプログラム参加者へのヒアリング等を踏まえ、事業計画の策定やプランディング等のスキルをより効果的に習得できるよう、プログラム内容の改善等を検討するなど、引き続き、スタートアップの創出と成長を支援するために必要な環境づくりや機運醸成の取組を推進する。	改善
		ミライ企業Nagasaki推進事業 (R7新規)R7-9 新産業推進課	R7新規		スタートアップの創出と成長を支援するために必要な環境づくりや機運醸成に努めるほか、今年度の実施結果や参加者へのヒアリング等を踏まえ、県内外に向けて広く当イベントの成功事例等の情報を発信するなど、更なる改善策の検討を進める。	改善
		スタートアップ首都圏チャレンジ事業 (R7新規)R7-9 新産業推進課	R7新規		今年度の実施結果や参加者へのヒアリング等を踏まえ改善を検討し、首都圏スタートアップの本県への呼び込み及び県内スタートアップの首都圏大企業との取引拡大等支援のために効果的な取組を推進する。▣	改善
取組項目 ii	○ 7	大学連携新産業創造拠点整備事業 H19- 新産業推進課	入居者企業の増加に向けて、様々なイベント等で本事業の周知に努め、PR活動を強化する。	⑤⑥	施設を運営している中小企業基盤整備機構、県及び長崎市の3者において、定期的に協議を行いながら、大学等との連携を深め、新たな事業活動を展開する企業等の増加に向けた取組を推進する。	改善

注: 「2. 令和6年度取組実績」に記載している事業のうち、令和6年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

##### 【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戰略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案（制度改正要望）する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点